



学校だより

はくれい

白山市立白嶺小学校
白山市立白嶺中学校
第9号
令和7年9月1日

きょう
から
がっき
ひんき
どっこい
しきょうしき
むか
おも
はくれい
今日はから2学期が始まりました。みんなが元気に登校し、始業式を迎えられたことを
たいへんうれしく思います。よりいっそう すてきな白嶺をみんなでつくりましょう♪

みんなが安心して過ごせる白嶺 みんなで励まし合い挑戦できる白嶺
みんなに感謝し、感謝される白嶺 みんなが元気に進化し続ける白嶺

～ともにがんばろう～

【毎日新聞 令和7年8月10日】より 育友会行事「輪島中との交流会」記事

「集団避難」の縁大切に

輪島中の山田忠和PTA会長（右端）の案内で、輪島市鳳至川沿いの震災と豪雨からの復旧状況を学ぶ白旗小中の子どもたち



輪島中生 白嶺小中生23人招き交流

れも石川県輪島市で

していた

た大切な先輩への悲しみを胸に、部活のバスケットや勉強を頑張っている」と話し「普段から、避難場所への道を確認をねいてください」と呼びかけた。浅野楓夏さん(同)も「避難生活の後、弟や妹、両親、祖父母と家族7人で自宅で暮らせるようになった時の喜びは忘れない」と振り返り、「非常用バッグを準備するなど防災の大切さを伝えたい」と語った。

白嶺小中の児童・生

児童・生徒らの表敬を受けた小川正・輪島市教育長は「白山市の市長として、みなさんが温かく迎えてくれたおかげで、震災を経験した輪島の子どもたちは目標と夢に

機会がほとんどなかつたことから、輪島中P.T.A.と白嶺小中育友会が企画した。4日にあつた交流会で、輪島中の生徒らは、総合学習の授業で学んだ防災や復興、まちづくりについて意見を発表。池澄稀虫那さん(3年)は「豪雨で亡くなつたことから、輪島中P.T.A.と白嶺小中育友会と話した。

その後、白嶺小中の児童・生徒らは、地震や豪雨の爪痕が残る被災地や市中心部、白光千枚田などを巡り、災害の恐ろしさや復旧・復興の様子などを見学した。祖父が輪島市出身という加藤尊勝さん

保護者の皆様へ

8月24日(日)には資源回収、愛校作業にご参加いただきありがとうございました。

暑い毎日が続きましたが、各々、夏休みにしかできない経験を存分にできたと思います。

2学期は運動会や白嶺祭等、学校の代表的な行事が予定されています。熱中症等の対策を講じつつ、子どもたちがより大きく成長するような教育活動を展開していきたいと思います。保護者の皆様のご理解とご協力ををお願いいたします。